

第1章 市勢概要

1 位置及び地勢

真岡市は、栃木県南東部に位置し、東京から約90km圏内に属しています。市の北側は宇都宮市、芳賀町、市貝町、南側は茨城県筑西市、東側は益子町、茨城県桜川市、西側は小山市、下野市、上三川町に接しています。

市の区域は、東西約15km、南北約20kmと南北にやや長く、面積は167.34k㎡あります。

関東平野北部に位置し、市の地形は全体的に平坦ですが、東部は八溝山地西麓の標高200m前後の丘陵地であり、中央部は何条もの台地が南北に伸びています。市の中央を五行川、東に小貝川、西に鬼怒川などの河川が流れ、その流域には肥沃な農地が広がり、冬季の日照時間も長く、日本一の生産量を誇る「いちご」をはじめとする農作物の生産に適した土地柄です。

江戸時代末には、「真岡木綿」の特産地として全国にその名が知られ、それを運ぶ鬼怒川の水運業も盛んでした。また、荒廃した農村の復興に尽くした「二宮尊徳」が在陣したゆかりの地でもあります。

現在は、北関東自動車道や鬼怒テクノ通りなどの広域的な道路網が整備され、約90社の企業が操業する大規模な工業団地を有する都市として発展しています。

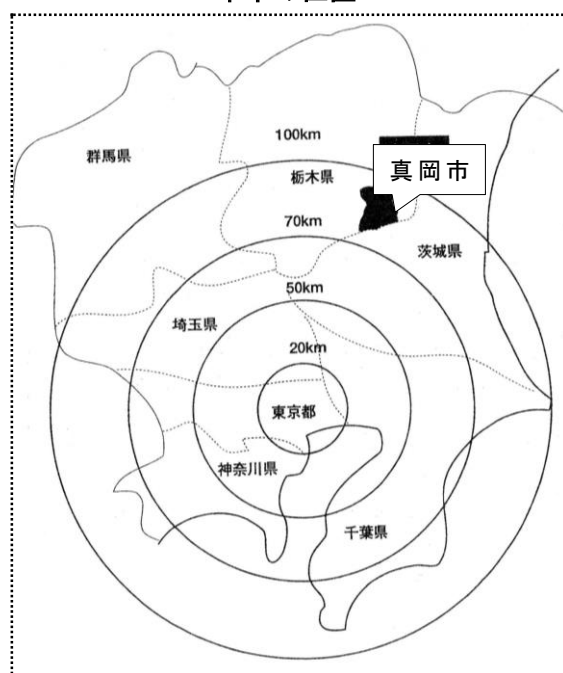
市役所の位置及び本市の面積等

所在地	真岡市荒町 5191 番地
東 経	140° 00' 47"
北 緯	36° 26' 25"
面 積	167.34 k㎡
東 西	14.9 k m
南 北	19.4 k m
海 抜	65.5 m
人 口	79,347 人
世帯数	29,379 世帯

平成29年版真岡市統計書より

人口及び世帯数は、平成30年7月1日現在の推計人口調査値である。

本市の位置



2 都市計画の用途地域と面積

都市計画の面では、全市域が都市計画地域に指定され、そのうち 1,678ha（全体の約 10%）が市街化区域であり、市街化区域を除いた 15,056ha（全体の 90%）は市街化調整区域です。

面積:ha、構成比:%

区域	面積	構成比	用途地域	面積	構成比
市街化区域	1,678	10.0	第一種低層住居専用地域	232.8	13.9
			第一種中高層住居専用地域	237.1	14.1
			第二種中高層住居専用地域	127.1	7.6
			第一種住居地域	299.1	17.8
			第二種住居地域	100.3	6.0
			準住居地域	17.2	1.0
			近隣商業地域	71.5	4.3
			商業地域	38.2	2.3
			準工業地域	17.6	1.0
			工業地域	77.0	4.6
			工業専用地域	460.1	27.4
市街化調整区	15,056	90.0			
計	16,734	100.0			

平成 29 年版真岡市統計書より

3 地目別土地面積

本市の土地利用状況については、次の表のとおりです。農地が 5 割を占め、山林と合わせた緑は約 6 割となっていますが、減少傾向にあります。

面積:ha、構成比:%

地目	平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年		平成 29 年	
	面積	構成比	面積	構成比	面積	構成比	面積	構成比
田	6,691	40.0	6,685	39.9	6,663	39.8	6,681	39.9
畑	1,974	11.8	1,957	11.7	1,942	11.6	1,900	11.4
宅地	2,353	14.1	2,393	14.3	2,356	14.1	2,379	14.2
山林	1,498	9.0	1,488	8.9	1,474	8.8	1,467	8.8
原野	94	0.6	92	0.6	92	0.5	92	0.5
池沼	19	0.1	19	0.1	28	0.2	28	0.2
雑種地	676	4.0	676	4.0	690	4.1	686	4.1
その他	3,416	20.4	3,424	20.5	3,489	20.9	3,501	20.9
総面積	16,721	100.0	※16,734	100.0	※16,734	100.0	※16,734	100.0

平成 29 年版真岡市統計書より（各年 1 月 1 日現在）

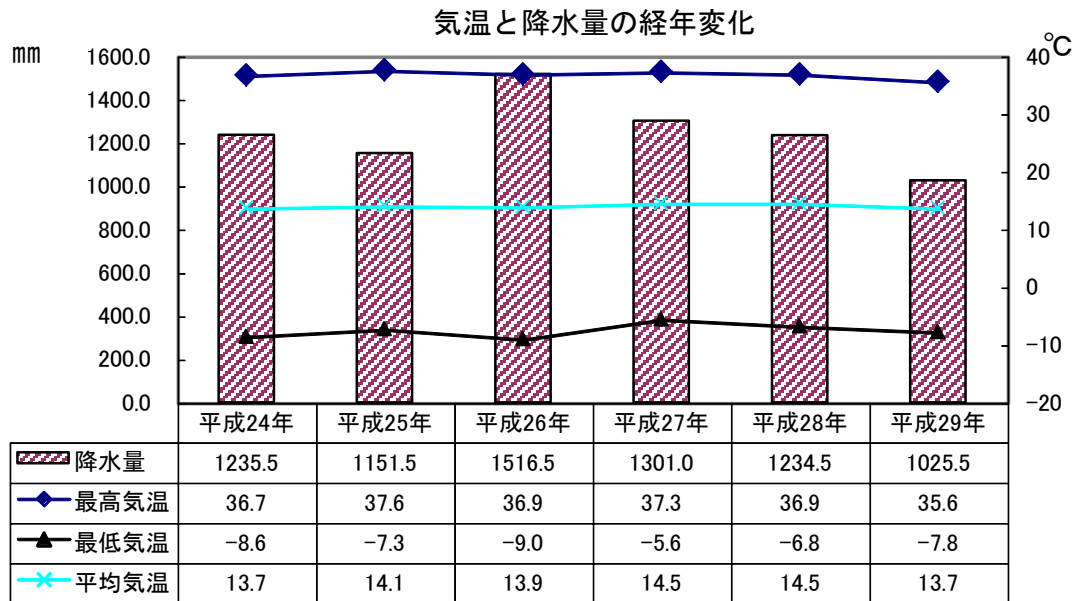
※ 国土交通省国土地理院の面積計測方法の変更により、総面積が変更となる

※ 地目の「その他」は、河川や道路などの上記地目に含まれないものすべてとなる

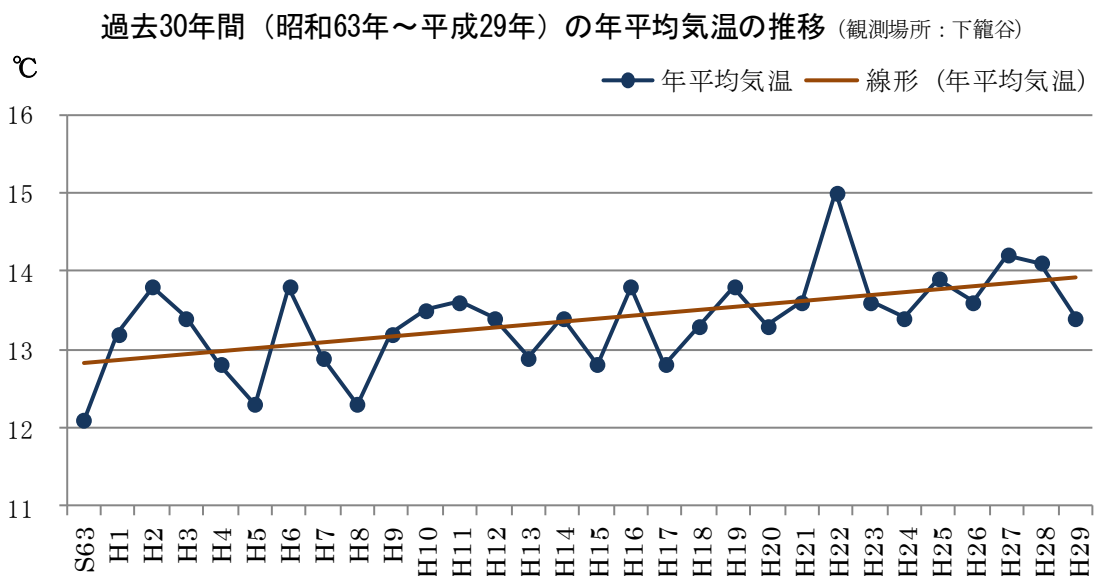
4 気象

気象は、気温格差の大きい内陸型の気候となっています。年平均気温は13～14度前後、年間降水量は1,000～1,500ミリ程度で推移していますが、年平均気温の過去30年間の推移を見ると、1度ほど上昇しているのが見て取れます。

また、昨年一年間の月別の気温・降水量を過去30年間の平年値と比較しますと、月平均気温が、30年間の平均値より高くなっています。また降水量は、月により平年値よりも極端に多かったり、少なかったりしているのが見て取れます。

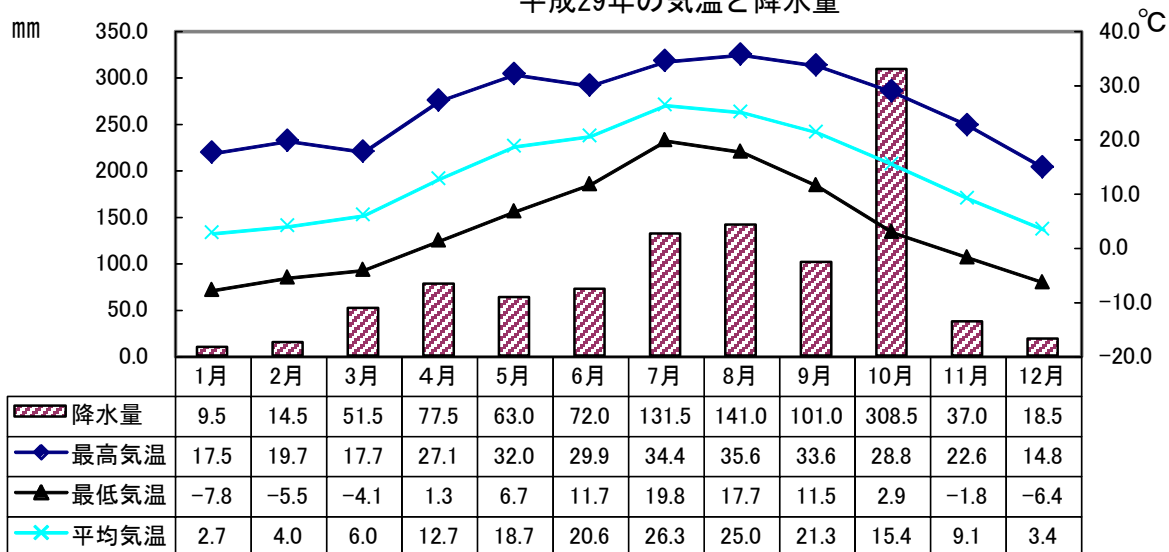


平成29年版真岡市統計書より（測定場所：消防本部）



気象庁「真岡 年ごとの値 主要要素」（<http://www.data.jma.go.jp>）をもとに作成

平成29年の気温と降水量



平成29年版真岡市統計書より（測定場所：消防本部）

月別気温と降水量（平年値：昭和56年～平成22年）

